

福祉にいがた

Fukushi Niigata

2024
第862号

6月号

CONTENTS

巻頭特集

ゆるく楽しく、高齢者劇団―新潟

(2〜4面)

● 福祉の拠点―遊びスペース充実「放デイ」

● 本年度も県民介護・技術講座



絵 「寄せ木細工と花」 作・久保田 学（聖籠町）
〈作者一言〉寄せ木細工の机上の花瓶から咲く花は自然のパワー全開



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp>

バックナンバー
こちらから

「舞台 ゆるく楽しく」モットー



高齢者施設で創作劇「かぐや姫」を披露する劇団「あかつき」の団員たち＝3月29日、新潟市東区

劇団「あかつき」

(新潟市)

ミスOKでできる範囲で 高齢者も障害者も歓迎

60代～80代
団員10人弱

新潟市東区の石山地区公民館で練習する劇団「あかつき」。10人弱の団員は60代～80代で、シニア劇団でもある。劇団代表は演劇の魅力に引かれて20年という大西曉美さん。新潟市江南区。50代半ばからの挑戦ながら、数々の舞台や映画、テレビのドラマ・CMなどにも出演し、一方で、シニア団員たちと一緒に創作劇を作り上げ、地域で披露してきた。演出者・劇作家も務めるものの、演出方針は「ミスしてもいい」「できる範囲でいい」とゆるやか。「演劇を楽しみながら、人とのつながりやご縁を求めたい」という大西さんと、劇団の活動取材した。

「かぐや姫や、どうして泣くの？」

「私は月に帰らねばなりませんめ…」

3月下旬の午後、新潟市東区にある高齢者施設の集会所で演劇「かぐや姫」がクライマックスに差し掛かっていた。集まった施設利用者を前に演じていたの

は劇団「あかつき」の団員たち。日本最古の物語「竹取物語」を簡潔に分かりやすく、大西さんが台本を書き上げた創作劇だ。



名刺に「演出」「日本演出者協会会員」などの紹介が並ぶ大西さん。「50代半ばまで演劇とは無縁でした」

新潟市江南区に生まれ、高校を出て銀行に就職。23

こころ
紡いで

巻頭特集

歳で7歳上の公務員と結婚して長女を出産。退職して

「大西曉美さん連絡先」
▽携帯 090(4679)45803
▽E-Mail akemi523523@hotmail.co.jp

「子育てと家事のほかは夫に頼りつ放しの生活だったから不安でした」。再び金融機関へ働きに出た。

その約20年後。離れて暮らしていた、夫の母が亡くなった。葬儀で義母の自己史が読み上げられた。

「自身の生き方を見つめ直す機会になりました」

それがきっかけだったのか、新潟市報の催し案内で自己発見講座を見つけ、申し込んだ。

「演劇関係者が講師で、自己表現の力強さに胸を打たれ、劇団活動がしたくなった」。舞台の魅力に引かれて地元で劇団を掛け持ち。さらに、長岡の演劇ワークショップにも通った。

50代半ば 演劇の道に

知人誘い劇披露重ね

劇団に加わって2、3年後。地域の行事で劇などの出し物を頼まれた。自分の名前をもじり、劇団「あかつき」を名乗った。「劇に出

ない？」と知り合いを誘っては創作劇を上演した。当初は劇団の体裁が整わないまま活動。その後、規約なども決め、団員も募集

していった。「素人も高齢者も大歓迎です。障害のある人が今も

役者をしています」
「素人も高齢者も大歓迎です。障害のある人が今も

「素人も高齢者も大歓迎です。障害のある人が今も

係で複数劇団が共演することも多い。
劇団「あかつき」を名乗ってからの18年間、大西さんの演出で舞台上上がった人たちは「延べで約400人になる」。

中には、自ら「ひきこもり」と称し、表情の乏しかった男性が舞台の後、笑顔をを見せて言った。「おれ、ひきこもり、治った」

こうした活動の一方、映画やTVドラマ・CMの出演依頼が来るようになり、女優としても活動した。

◆◆◆
「劇団の雑用は全部、私の担当」という大西さん。役者として今も自ら舞台上立つ一方、演出者・劇作家として台本を書き、BGMを決める。

また、役者が発するせりふは新型ウイルス禍の飛沫対策を機に、事前に録音するプレスコ方式が主流となっており、その録音データ編集も手掛ける。

（4ページへ続く）

劇団「あかつき」代表 大西 曉美さん

(新潟市江南区)



〔大西曉美―主な関係作品〕

▽演出・脚本または役者△

「江戸時代に亀田町誕生」「一杯の水」「越後新川物語」「女神様の贈り物」「湯と共にある新潟」以上、新潟市で開催された「水と土の芸術祭」で上演

▽映画△

「田舎作どんがいる村」(2016年)新潟の四季を背景に雪

国の伝説を描いた作品で、祖母役。第1回「いぶすき映画祭」(鹿児島県指宿市)で最高賞に

次ぐ「銀のいぶすき賞」。

▽テレビ△

TBS「松本清張ドラマスペシャル」三億円事件(2014年)目撃者の役

NHK「天才てれびくん」(2014年)米ぬかばあさん役

台本書き、主役や演出も 雑用は一手に引き受け



特殊詐欺防止をテーマにした創作劇のフィナーレ。他の劇団と合同で披露した=3月17日、新潟市南区

大西さん 劇団員への思い

(3ページから続く)

よわい70代半ば。しかし、その多忙な毎日の活動を控える様子は見せない。

「人生で大切なのは人と

のつながりや

仲間です。演

劇は人とつな

がる手法の1

つななんです」

3月16日午

後は石山地区公民館で劇団

「あかつき」の月2回の練

習日だった。

劇団は近年「啓発もの」

に力を入れる。3、4年前

から「特殊詐欺防止劇」を

続け、この日は「防災劇」

の台本を仕上げ、読み合わ

せに配った。

団員らはそれぞれ与えら

れた役のせりふを早速、感

情を込めて読み合った。

尋ねると、団員らが演劇

を始めたのは「半年前から」

「4、5年前から」「7、8

年前だな」という。

さらに、演劇の魅力につ

いて「舞台で自分とは全く

別の人になれる。それが楽

しい」「お客さんを元気に

して、お客さんからも元気

をもらえる活

動だ」などと

語り、それぞ

れに楽しんで

いる様子だ。

団員たちに

向ける大西さんのまなざし

は優しい。

「失敗してもいい。でき

ることだけでいい。終わっ

てから『あゝ、楽しかった』

と思ってもらえたら」

さらに、団員に呼び掛け

る。「演劇は4番目ですよ。

1に家庭、2に仕事、3に

用事。それから4が演劇で

す。それでいい」

ゆるく、楽しくー。人と

のつながりを求めて舞台上に

上がり、心と心を紡ぎ続け

る団員たち。その幕はまだ

「あゝ楽しかった」と感じてくれたら 演劇は4番目、家庭・仕事・用事が先



出来上がったばかりの台本を手にも、せりふ読みの練習をする劇団「あかつき」の団員たち＝4月16日、新潟市東区



創作劇「かぐや姫」上演後の記念写真。「あゝ、楽しかった」との声が聞こえそう＝3月29日、新潟市東区

特養などの高齢者施設、訪問介護、障害者の支援施設、こども園 など

職員が
お願いや苦情を
聞いてくれない

職員の言葉遣いや
言い方がキツく
嫌な思いをしている

施設内でケガをしたが
職員の説明や対応に
納得できない

福祉サービスについて、事業者にも相談しても解決しない、また、話しにくい場合は

新潟県福祉サービス運営適正化委員会

〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階

TEL.025-281-5609

相談無料 秘密厳守

FAX.025-281-5610

メールアドレス kujou@fukushiniigata.or.jp

令和6年度 県民介護知識・技術習得講座

「新潟県介護実習・普及センター」（事務局・新潟県社会福祉協議会内）は県の委託を受け、令和6年度「県民介護知識・技術習得講座」を6月から開催します。一般の県民が対象で、定員は各コース先着16～30人ほどで、参加費は無料です。家庭で介護が必要になりそうな方や、介護の仕事に興味がある方の参加をお待ちします。

各コースとも午前10時から午後4時まで、昼休み1時間です。実技はできるだけ濃厚接触しない方法で行います。

介護体験・入門コース 1日完結 (1日5時間)

新潟会場 <計11回>新潟ユニゾンプラザ <small>新潟市中央区 上所2-2-2</small>		
A コース (計2回)	6月19日(水) 10月25日(金)	午前<講義> 「介護のための基礎知識」 午後<講義> 「地域住民による助け合い活動」
B コース (計2回)	6月25日(火) 10月29日(火)	午前<講義> 「高齢者・障がい者の理解」 午後<体験> 「家庭における緊急時の対応」
C コース (計2回)	8月7日(水) 9月14日(土)	午前<実技> 「負担の少ない寝返り介助の方法」 午後<実技> 「車いすへの安全な介助の方法」
D コース (計2回)	8月8日(木) 9月15日(日)	午前<実技> 「家庭で活かす衣類の着脱介助」 午後<実技> 「自立に向けた排泄介助」
E コース (計3回)	9月27日(金) 11月1日(金) 12月12日(木)	午前<講義> 「認知症の理解」 午後<演習> 「認知症の対応」

柏崎会場 <計2回>柏崎市文化会館アルフォーレ <small>柏崎市日石町 4-32</small>		
C コース	7月4日(木)	午前<実技> 「負担の少ない寝返り介助の方法」 午後<実技> 「車いすへの安全な介助の方法」
D コース	7月5日(金)	午前<実技> 「家庭で活かす衣類の着脱介助」 午後<実技> 「自立に向けた排泄介助」

上越会場 <計3回>上越市市民プラザ <small>上越市土橋 1914-3</small>		
C コース	7月23日(火)	午前<実技> 「負担の少ない寝返り介助の方法」 午後<実技> 「車いすへの安全な介助の方法」
D コース	7月24日(水)	午前<実技> 「家庭で活かす衣類の着脱介助」 午後<実技> 「自立に向けた排泄介助」
E コース	7月30日(火)	午前<講義> 「認知症の理解」 午後<演習> 「認知症の対応」

長岡会場 <計1回>ハイブ長岡 <small>長岡市千秋3-315-11</small>		
E コース	8月30日(金)	午前<講義> 「認知症の理解」 午後<演習> 「認知症の対応」

介護技術・基本コース 全3日間 (1日5時間)

<実技>「在宅介護の基本介護技術の習得」

1日目	介護の基本・ボディメカニクスの活用・ベッドメイキング・体位変換
2日目	歩行介助・車いすの介護・衣類の着脱介助
3日目	食事の介助・排泄の介護

新潟会場 <計3回>新潟ユニゾンプラザ <small>新潟市中央区 上所2-2-2</small>		
6月コース▶	6月6日(木) 7日(金) 11日(火)	
10月コース▶	10月17日(木) 18日(金) 22日(火)	
12月コース▶	12月3日(火) 4日(水) 10日(火)	

長岡会場 <計1回>ハイブ長岡 <small>長岡市千秋3-315-11</small>		
8月コース▶	8月21日(水) 22日(木) 23日(金)	

介護技術・ステップアップコース

全2日間(1日5時間)

<実技>「介護技術・基本コースを受講した人を対象とした、応用的な介護技術の習得」10時間

1日目	介護の基本・ベッド上の移動・車いすの介護
2日目	衣類の着脱介助・排泄の介護・質問コーナー

(基本コースの復習 福祉用具の活用)

新潟会場 <計1回>新潟ユニゾンプラザ <small>新潟市中央区 上所2-2-2</small>		
11月コース▶	11月7日(木) 8日(金)	

お問い合わせ、お申し込み先

新潟県社会福祉協議会 福祉人材課
「介護実習・普及センター」

〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ3階

電話 025-281-5525 受付時間/月～金8:30～17:00
(土・日・祝祭日を除く)

メール kaigo@fukushiniigata.or.jp

定員になり次第締め切り(キャンセル待ち受け付けます)

令和6年度

ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>

全社協 保育所・認定こども園の損害補償

スケールメリットを活かした充実した補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

セットプラン

保険金額	基本セットプラン	天災セットプラン	
賠償事故に対応	身体賠償（1名・1事故）	1億円・7億円	2億円・10億円
	財物賠償（1事故）	1,000万円	1,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中） うち現金支払限度額（期間中）	200万円 20万円	200万円 20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
	被害者対応費用	1名につき 5万円限度 1事故 10万円限度	
園児の傷害事故に対応	死亡保険金	121.2万円	108万円
	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%	
	入院保険金（1日あたり）	1,700円	1,500円
	手術保険金	入院中の手術：入院保険金日額の10倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍	
	通院保険金（1日あたり）	1,100円	1,000円
	天災補償	なし	あり

基本セット補償保険料計算例 100名で加入の場合	
賠償	29,300円
傷害 870円 ×100名 ×1口	87,000円
合計	116,300円

セットプランをおすすめします!!



個別プラン

プラン1 保育所業務の補償

- ① 基本補償
 - オプション1 ● 地域子育て支援拠点事業等補償
 - オプション2 ● 保育所の借用不動産賠償事故補償
 - オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
 - オプション4 ● クレーム対応サポート補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
- ③ 保育所の什器・備品損害補償

プラン2 保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 職員等の補償

- ① 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- ② 役員・職員の傷害事故補償
- ③ 役員・職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償

プラン4 法人役員等の補償

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、サイバー保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「保育所・認定こども園の損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 TEL：03(3349)5137
 受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL：03(3581)4667
 受付時間：平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ23-11599 より抜粋)

福祉職員のソウエルクラブ

福利厚生充実、手厚く

社会福祉関連の職場で働く人たちの福利厚生を支える社会福祉法人「福利厚生センター」（本部・東京、愛称・ソウエルクラブ）の地方事務局の一つ、新潟県地方事務局（県社会福祉協議会内）は令和6年度も会員交流事業を展開。県内の福祉ワーカーらの生活充実や健康増進に貢献します。

「映画」今年も千円提供サービス多彩

新潟事務局

新潟独自に企画する会員交流事業は毎年、好評です。映画1本を1000円で見られる「映画鑑賞割引券」（8月1日から）「全国共通お食事券ジェフグルメカード」（1月中旬から）の募集開始はこれからです。今年度事業のうち、既に取り扱いを終えた「宝塚歌劇雪組全国ツアー」「プロ野球セ・リーグ 横浜DeNAベイスターズVS読売ジャ

イアンツ」「夏の特別落語会 in 長岡」「お得に楽しむデイズニールゾート利用券」は特に人気でした。次回お申し込みをお待ちします。

◆ 職場の福利厚生の充実は、働く人材の確保と定着に欠かせないと言われます。「福利厚生センター」（ソウエルクラブ）が提供するサービスは、社会福祉事業や介護保険事業を運営する

充実 多彩なソウエルクラブ

地域密着サービス① 会員交流事業

コンサートや観劇、映画鑑賞、グルメなど、職場の仲間や家族と楽しめる企画をご案内！

新潟独自

優待割引サービス

全国の提携宿泊・レジャー施設・グルメ等がお得な優待価格で利用可能

本部

基本サービス

- ・永年勤続記念品
- ・慶弔見舞金
- ・資格取得記念品
- ・健康生活用品給付
- ・生活習慣病予防検診費用助成

本部

地域密着サービス② チケット先行予約

県内で開催されるコンサートや公演などを先行案内、チケット予約ができます。

新潟独自

地域密着サービス③ 施設利用割引事業

地元の日帰り温泉やレジャー施設、ホテル、スキー場リフトが割引価格で楽しめます。

新潟独自

法人が会員となることで、法人内の非常勤も含めた職員全員が利用できます。

掛け金は1年度1人1万円です。非常勤職員は掛け金を5000円にして、サービス限定もできます。福利厚生センターは福祉関係者の要望を受け、1994（平成6）年に設立されました。小規模法人が多い福祉関係職場がまとまる

ことで、全国会員27万人のスケールメリットを生かし、充実した福利厚生サービスを実現しています。毎年度、新規に会員となる法人を募集中です。県社協内のソウエルクラブ新潟事務局、電話025（281）5526。

能登半島地震

県内被災者向け義援金受け付け

12月27日まで延長

受け入れ額 1億円既に突破

1月1日に発生した能登

半島地震の新潟県内被災者

支援のため、新潟県共同募

金会が呼び掛けていた災害

の6月28日から12月27日に

でも延長しています。

能登半島地震の新潟県内

延長は、支援の申し出や

問い合わせが相次いでいる

被災者支援のための災害義

援金は4月段階の中間報告

で1014件約4900万



赤い羽根

情報



赤い羽根

情報



ありがとうございます



上越市社協

共同募金助成受け ボラ養成講座開催

新潟県共同募金会と30市

町村共同募金委員会は令和

5年度の福祉事業に助成し

ました。上越市共募委の助

成で地域ボランティアセン

ター事業を実施した上越市

ました。ご紹介します。



地域福祉活動は「人づく

り」が重要ですが、ボラン

ティア活動への意欲はあつ

ても手段や方法が分からず

に、実際の活動に繋がらな

い場合があります。また、



上越支所で開催された「ボランティア養成講座」

新型コロナウイルスの影響により、ボランティアグループの活動が未だに停滞

円が寄せられました。

その後、中央共同募金会

に寄せられた義援金の新潟

県分が送金されるなどした

ため、義援金受け入れは5

月17日現在で1066件、

約1億647万円となつて

います。

引き続き、ご協力をお願

いします。

義援金の受付口座は次の

通りです。

▽第四北越銀行白山支店

普通 1590791

□座名義 社会福祉法人

新潟県共同募金会

▽大光銀行新潟支店

普通 3043002

□座名義 社会福祉法人

新潟県共同募金会

▽ゆうちょ銀行

00130005157

16

□座名義 新潟県共募能

登半島地震災害義援金

している場合があります。

このような状況の中、上

越市社会福祉協議会ではボ

ランティア活動を始める第

一步となる機会創出のため、

また、ボランティア活

動者の意欲向上のため「ボ

ランティア養成講座」を実

施しました。

養成講座に参加された方

同士が時間を共にすること

で、同じ目線や立場で気持

ちを分かち合い、ボラン

ティアを始めるきっかけと

活動意欲向上に繋がっていると感じています。

この講座が開催できるの

も、地域の皆さまからお寄

せいただいた赤い羽根共同

募金のおかげです。ご支援

を頂いた地域の方々、企業、

学校、各団体の皆さまに心

から感謝とお礼を申しあげ

ます。

上越市社会福祉協議会は

これからもさらなる地域福

祉の推進に努めて参ります。

ありがとうございます。

福祉の拠点

訪ねて

児童発達支援 放課後等デイサービス 「そらとぶしっぽ」

新潟市西区山田3-3-30
〒0225(3778)2559
Eメール soratobushippo@gmail.com

「そらとぶしっぽ」利用料金

新潟市の規定により、児童発達支援・放課後等デイサービスともに、世帯年収に応じ月額負担は0円から4600円、3万7200円まで。

いずれの世帯もおやつ代1回分100円。土曜日や学校休業日はランチ代1回300円。詳しくはお問い合わせを。

「こっち、こっち!」「よし!」。室内遊具で遊ぶ子どもたちの声が響く。

新潟市西区山田にある児童発達支援と放課後等デイサービスの複合施設「そらとぶしっぽ」の平日の午後。室内では利用者の子どもたちが遊び回っていた。

「ここは園庭や室内アスレチック遊具など、子どもたちの遊ぶ環境が充実していることが自慢です」と、運営するNPO法人・健康サポートプラスの奈良橋里江子理事長。

園庭には砂場やハンモック、ぶら下がりロープなどがあり、晴れた日は子どもたちに人気という。

「そらとぶしっぽ」は3年前にオープン。午前中は6歳以下を対象にした児童発達支援で、現在5人が通い個別支援を受ける。

午後からの「放課後等デイサービス」には6〜18歳（小学校から高校生）の24人が、それぞれの療育計画に従って週に1〜5日利用する。子どもたちには療育を受ける場であり、放課後の居場所でもある。

子どもたちは見た目には元氣そのものだが、自閉スペクトラム症（ASD）や発達支援で、現在5人が通い個別支援を受ける。

注意・欠如多動症（ADHD）などの発達障害や知的障害と診断されたか、その疑いがあるという。子どもたちは普通学校や特別支援学校に通い、授業を終え職員を迎えて施設を訪れる。

施設では20代〜40代の職員9人が療育に当たる。

施設に到着した子どもたちは宿題をこなし、おやつを頂く。その後「おにごっこ」「パソコン」など、自分で書き出した「やりたいことリスト」に従い、遊ぶ自由に過ごす。

高校時代は器械体操の県

奈良橋さんは「長所やできることを伸ばし、できないことを否定しない」と強調。さらに「1人の人として向き合うことを大切にしています」と力を込める。

「大人は、子どものできないことに目が行きがちだけど、苦手があってもできないことがあってもいい。苦手は誰かに代行してもらえば将来も困らない」

自身もADHD、ASDを自認する奈良橋さん。「当事者だから分かることもあり、居心地の良い居場所を目指したい」と語った。

発達障害の子らを療育



大型マットやアスレチックネットなど、遊具がたくさんある室内



砂場やハンモック、壁登りのある園庭（以上の写真は許可を得て撮影）



「そらとぶしっぽ」の施設と奈良橋里江子理事長

園庭や室内アスレチック... 遊びと運動 環境充実

倒壊住宅や道路損傷 惨状今も

能登半島地震

能登町災害ボランティアセンター



地震発生から4カ月近くたっても倒壊したまま、無残な姿の民家＝4月25日、能登町



新潟県社会福祉協議会 佐藤 光 主事

珠洲市の南に位置する能登町も発災時は強い揺れに襲われ、犠牲者も複数出ました。町には倒壊したままの建物が散見され、惨状を生々しく伝えていきます。能登町災害VCは中心部の本部とサテライト2箇所が設置され、私は町の南側をエリアとするサテライトVCに詰めました。



毎朝、行われるボランティアへのオリエンテーション。活動の注意事項やお願いなどを伝える＝4月28日、能登町の能都サテライトVC

VCスタッフは、日によって違いましたが、地元の社協職員が1〜3人、応援が6人など、およそ10人前後でした。新潟県からは2人で、県社協のほか、柏崎市社協職員が一緒でした。

支援活動出発のボランティアへ

2次元コードを配布 スマホに行き先地図

1月1日の能登半島地震で甚大な被害を受けた石川県の能登地方の市や町では地元の社会福祉協議会が災害ボランティアセンター（VC）を設置。駆け付けた災害ボランティアを被災者の元へ送り出し続けています。一方、災害VC

の運営を支えようと、新潟県社協など全国の都道府県社協が応援態勢を組み、市町村社協とともに職員を派遣。4月25〜5月1日、能登町VCに派遣された県社協の佐藤光主事が、活動を通して見た被災地の様子を報告します。

宿舎は町内の民宿で、VCには車で30分ほど。民宿で風呂は入れましたが、食事は自己調達で基本でした。時折、宿の主人から差し入れがあり、心のこもった計らいに励まされました。小規模VCのためマッチング班、支援ニーズ班、現場確認班、ニーズを掘り起こすローラー班と、すべての業務を担当しました。石川県のボランティアバスが毎日運行され、私のいたVCではバスからの20〜25人を受け入れました。中には兵庫県の高校生や大阪など、県外からの参加者も多くいました。毎朝、駆け付けたボランティアにまず、オリエンテーション。続いて、被災者の支援ニーズを基にマッチングをします。①



被災後しばらく混乱

この後、ボランティアを班編成し、班長には支援活動に向かう被災者宅の情報を手渡されます。資料には2次元バーコードが付いており、スマホで読み取ると被災者の住所や地図が瞬時に表示されます。事前の準備が必要ですが、紙の無駄にならず便利だと感じました。

町に出ると、倒壊した家屋があり、道路にも段差や亀裂が残っていました。それでも住民たちからは「復旧復興へ頑張ろう」との気持ちも感じられました。

夕方のミーティング。スタッフが情報を共有するため欠かせない＝4月30日、能登町の能都サテライトVC



復興へ住民の意欲感じ

4カ月たち心整理か

震災直後は壊れた自宅などの現実を直視できなかったのですが、4カ月たち、前を向く気になったといえます。

このことから、被災直後は心のダメージも相当で、ボランティアとして出向くにも被災者の心情や心理状態をまず考えることが欠かせないと思えました。

今回のVCでは一緒にになったスタッフに恵まれ、たくさん議論しながら活動でき、とても有意義でした。貴重な経験ができたことに感謝しています。



被災住民の激励に群馬からの炊き出しボランティアが食事を振る舞った＝4月2日、能登町

福祉さかなに「乾杯！」



新潟市古町9にユニーク酒場登場

福祉をさかなに「乾杯！」。福祉関係者が気軽に集うユニークなバー「一刻」が新潟市中央区古町通9にお目見えした。飲み屋街の小路のビル2階にあり、カウンター10席だけ。「身寄りなし問題研究会」の須貝秀昭代表理事が新潟市西区が福祉を語り合える酒場を目指し、3月に開いた。

「文豪らの文壇バーをもうじり、福祉関係者の福壇バーとした。店名「一刻」

は大好きな漫画家、古町出身の高橋留美子先生の作品からお借りした」と須貝にわかマスター。ほかに、ケアマネジャーや社会福祉士などの女性が交替で「にわかママ」として、カウンター客の話し相手を務める。

福壇バーとはいえ、客は誰でも大歓迎。ただ、須貝マスターが日中も多忙なため、営業は週3回ほどの不定期営業にとどまる。

客からは「初めて会う人

店名「一刻」

文壇バーもじり こちら福壇バー



ともに福祉専門職のマスター、ママが話し相手となる福壇バー「一刻」

たちなのに、昔からの知り合いのように話ができちゃう不思議な空間」とのSNS書き込みも。グラス片手に、福祉でも何でもおしゃべりしたくなったら、訪ねてみては？

営業日は「福壇バー一刻」でネット検索し、表示される店の「X」「フェイスブック」で確認できる。

【料金＝すべて税込み】席料・つまみ・ドリンク、どれも500円。飲み放題1人2500円（席料・つまみ含む）。

福祉のしごと
就職フェア

求職と求人 出合いの季節

朱鷺メッセが令和6年度の皮切りとなった「福祉のしごと就職フェア」は4月21日、新潟市中央区



県と県福祉人材センターが主催する「福祉のしごと就職フェア in 新潟」が4月21日、新潟市中央区の朱鷺メッセで開かれ、福祉関係の就職に意欲を持つ求職者と、人手不足を補おうと人材を求める事業所の対面が繰り広げられました。福祉のしごと就職フェアは新潟・長岡・上越の3会場で開催6回開かれ、今回が本年度の皮切りです。



朱鷺メッセで 本年度皮切り

新型コロナウイルス感染症禍の際には中止や規模縮小が続きましたが、令和4年から元に戻りました。

会場には求人側として県内各地から福祉関係の56事業所・法人がブースを構えました。求職者は来春、卒業を予定する大学生や就職希望者ら約120人が詰め掛けました。

真新しいリクルートスーツを着込んだ女子大学生は「希望する職種は絞り切れていないが、福祉も興味のある分野なので、業務内容を聞きたい」と各ブースに興味いっぱいでした。

6月9日長岡 上越29日開催

「福祉のしごと就職フェア」 in 長岡は6月9日にハイブ長岡で、in 上越は29日に市民プラザで開かれます。長岡、上越ともに午後1時30分から。

問い合わせは県福祉人材センター、電話は025(281)5523。

パレット新潟店営業日

2024年		6月					
日	月	火	水	木	金	土	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30							

2024年		7月					
日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

営業時間 11:30~16:30 □…は休業日

福祉の店 パレット情報



編集後記

新聞の投稿欄を読むのが毎朝の楽しみだ。最近も90代半ば過ぎの男性が投稿で「行きつけのラーメン屋に触れていた。その年齢になっても行きつけの店があるのか」と、年々、ラーメン屋が遠くなりつつある身としては驚いた。別の投稿ではやはり90代半ばが「メールのチェックが日課」と書いていて、脱帽の思いだった。

劇団「あかつき」の取材でも驚いた。フィナーレの際、壇上で紹介された女性は86歳。今春から放送大学大学院で健康について学んでいるという。8年前、放送大学に入学、2つのコースを修了した。

女性はこのほかにも、地域のデイサービスなどに向き、利用者と一緒に健康体操を楽しむボランティア活動も続けている。「毎日、忙しい。でも、ぼけたくないから、いろいろやっているの、アハハハ」。長寿高齢社会を生きる「お手本」の1人に出会った気がした。
(佐)

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人/関原 貢
定 価/5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
令和6年6月1日発行 (毎月1日発行)
印刷/島津印刷株式会社